

<報道発表資料>

平成26年9月5日

デング熱の国内感染症例の発生について

1 概要

埼玉県内の医療機関をデング熱への罹患の疑いで受診していた患者について、国立感染症研究所で検査を実施したところ、デング熱の患者であることが確認されました。

当該患者は、疫学調査の結果、都立代々木公園及びその周辺での蚊の刺咬歴は確認できませんでした。

この患者の発症前の行動歴及び蚊の刺咬歴等から推定すると、感染場所は、東京都新宿区の新宿中央公園である可能性が疑われます。

2 患者について

年齢等 埼玉県在住、30歳代、男性

海外渡航歴 なし

発症・受診 8月30日発症、9月1日医療機関受診、外来治療中

症状 頭痛、発熱等。容態は安定している。

検査・診断 9月5日に国立感染症研究所で確認検査を行ったところ、デング熱陽性の結果が得られた。

蚊の刺咬歴 8月18日、20日、21日、22日、26日、新宿区立新宿中央公園

3 県民の皆様へ

デング熱に感染しても、重症化する場合はまれです。蚊に刺されてから3～7日程度で、高熱のほか頭痛、目の痛み、関節痛等の症状が見られれば、デング熱の可能性もあるため、早めに医療機関を受診してください。

屋外での作業は肌の露出を避け、虫よけ剤を使用するなど、蚊を寄せ付けない対策を講じるようにしましょう。

4 これまでの本県関係患者発生状況

埼玉県内では、9月5日までに5名がデング熱の国内感染症例として確認されています（さいたま市発表分を含む）。

5 お問い合わせについて

本事案については、本日、厚生労働省がプレスリリースを行っています。

県民の皆様、国民の皆様への正確な情報提供等、慎重な対応を行うため、厚生労働省と協議の上、厚生労働省が情報の一元管理を行うこととしておりますので、詳細は厚生労働省健康局結核感染症課にお問い合わせくださるようお願いいたします。

なお、県では、厚生労働省及び関係自治体と協力して疫学調査を進めてまいります。

厚生労働省健康局結核感染症課

(代表) 03-5253-1111

感染症情報管理室長 中嶋 建介 (内線2389)

課長補佐 難波江 功二 (内線2373)

<参 考>

○ 関連リンク

埼玉県 デング熱についてお知らせします。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/dengue.html>

厚生労働省 デング熱について

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dengue_fever.html

国立感染症研究所 デング熱とは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia/392-encyclopedia/238-dengue-info.html>